



### 消費者庁貸与の放射線量測定機器に関して 導入時期・運用の計画は

**問** 消費者庁から、食品の放射線量測定機器の貸与が決まったが、機器の仕様及び導入・運用開始の時期は。

**答 環境課長** 貸与時期は8月頃になり9月からの運用を考えている。また貸与される機器が未定のため、機器の仕様は不明である。

**問** 設置場所及び測定者は。

**答 環境課長** 設置場所は庁舎の会議室を予定している。また測定は職員が行う。

**問** 検査対象等のルールは。

**答 環境課長** 現在検討中だが、週2回程度の検査日を設定し、基本的に町内在住者で予約による申込を考えている。検査対象は町内で消費される食物及び飲料を予定しているが、土壌は対象外とする。

**問** 持ち込み検査の費用は。

**答 環境課長** 基本的に無料と考えている。

**問** 給食の食材の検査を行うべきと考えられるか。

**答 環境課長** 現状においては検査体制等の問題もあり実施は考えていない。検査開始後に、検査体制



**問** 災害時要援護者避難支援プランに関しての拡充を含めて検討したい。

**答 自治安心課長** 支援者とはどの範囲か。

**答 自治安心課長** 警察、消防などの他、要援護者が居住する地域の民生委員、区の役員等、また希望により個人支援者も含まれる。

**問** 地区社協が計画されているが、支援プランとの役割分担は。

**答 福祉課長** 地区社協設立準備会が発足した時点で、役割分担の協議を行いたい。

**問** 支援者が外出または被災することもあり得るが、代替プランは。

**答 自治安心課長** 支援者は複数定めることとしており、民生委員の方以外に、近隣の支援者の協力を広く呼びかけたい。

### 登下校中の子供たちの安全確保を第一に！ 区への加入率の低下！早期の対応が必要！



**問** 全国で登下校中の交通事故が多発しているが、当町では対策等協議したか。

**答 自治安心課長** 自治安心課・道路交通課・学校教育課で集まって対策を検討している。

**問** 以前から要望している第2保育所付近のT字路には未だ横断歩道が設置されていない。毎朝400人近い子供たちが横断しているが、担当課ではこの状況をどう捉えているか。

**答 道路交通課長** 横断歩道の設置要望はしているが未だ設置されていない。スクールゾーンの出入口に路面表示を更に追加し運転者の認識を高め進入車両を抑制するよう努めていきたい。

**問** 今後バリエードを用いた対策を要望するが、近隣の住宅が抜け道に使われることが懸念されるか。

**答 自治安心課長** 地権者との合意形成を含めて適切な場所を精査して進めていきたい。

**問** あずさ保育園が開園され、また通学路にも関わらず歩道も設置されていない。危険な箇所と懸念されるため、幹線20号線の交通



量調査が必要と考えるかどうか。

**答 道路交通課長** 担当課で出来る範囲の交通量調査は考えたい。

**問** 今後、北永井・藤久保地区に併せ、唐沢地区のスクールゾーンも見直しが必要と考えるかどうか。

**答 自治安心課長** PTAを中心とした地域の方からも危険箇所があると言っている。児童・生徒の安全が担保出来るか精査が必要と考える。

**問** 年々、区（自治会）への加入者が減っている事態をどう捉えているか。

**答 自治安心課長** 加入者が減少していることは残念な事態と考えている。



### 公共交通対策は！ 交通空白地域の改善はどうする！

**問** 施政方針の中で新たな公共交通の導入、とあるが、新たな公共交通とは何か。

**答 政策秘書室長** 現在、ライフバスが走っていない生活道路にコミュニティバス、デマンド交通など二例だがプロジェクトチームで、研究後、提言したい。

**問** 現在、新座市で都営地下鉄大江戸線の延伸活動を行っているが、三芳町も連携して藤久保に駅を創る考えはないのか。

**答 政策秘書室長** 現在、新座市、清瀬市、所沢市、練馬区の延伸協議会でJR東所沢駅に接続を要望しているようだが、三芳町として、狭山市、川越市の動向を注意して研究したい。

**問** 交通空白地域の改善をどのように考えているか。

**答 政策秘書室長** 昨年の調査で世帯数の56.9%が交通空白地域であると判明、今後研究し、検討課題にしたい。

**問** ライフバスの苦情をよく耳にするが、町はどのような対応をしているのか。

**答 道路交通課長** 住民の方から苦情の内容を詳しく聞き、随時ライフバス社へ



伝えている。今後は住民の方

**問** 緑のカーテンの普及活動や町内コンテストは。

**答 環境課長** リーフレットを作成し、ホームページで周知する。今後、環境保全協力会に提案していく。

**問** 当町の再生可能エネルギーの取り組みは。

**答 環境課長** 本年、住宅用太陽光発電システム補助金制度が導入され5月末で12件の申請があった。エコタウン推進を全町で取り組んでいきたい。

**問** 高齢者の見守りや安否確認に救急医療情報キットや携帯用安心シートの配布はどうか。

**答 福祉課長** 今後セットで検討していきたい。

**その他の質問**  
自主財源確保の広告収入について

**問** が快適利用できるよう、協議をしていきたい。

**問** 国民健康保険税の会社都合退職者向けの減税制度を住民に周知しているか。窓口対応が不親切と住民から苦情も出ている、今後は住民に親切な対応を求めたい。

**答 住民課長** 平成22年より、広報、ホームページで、窓口ではチラシを置き対応している。

**問** 職員の昼食の件、見えるところでの昼食はなぜか。職員の昼休みは取れているのか。

**答 総務課長** 場所がないため、止む無く、職場でとっているが昼休みはとれている。

### 住民生活の環境保全対策を！ 適正管理を促す「空き家対策条例」の制定は



**問** 少子高齢化・核家族化が進む中、総戸数に占める空き家率は約13%と増加している。近隣から空き家への環境問題や防犯等の苦情・相談件数の把握は。

**答 自治安心課長** 今まで3〜5件程度、害虫や防犯防災の相談を受けている。

**問** 所沢市やふじみ野市では、空き家等の適正管理に関する条例を施行した。当町でも制定してはどうか。

**答 自治安心課長** 近隣市の効果について研究していきたい。

**今夏の節電対策は**

**問** PPS（特定規模電気事業者）の切り替えて電気料金の削減はどうか。

**答 財務課長** 学校や保育所・公民館等を検討し、市場を見極め、PPS導入を図っていききたい。

**問** 公共施設の照明をLEDに切り替えてはどうか。

**答 財務課長** 役場の会議室や藤久保公民館のホールはLED蛍光灯を設置。今後順次切り替えていきたい。



命を守る救急キット

**問** 高齢者の見守りや安否確認に救急医療情報キットや携帯用安心シートの配布はどうか。

**答 福祉課長** 今後セットで検討していきたい。



三芳みらい  
菊地 浩二

### 安心安全な学校給食を提供しているか？ 三芳町教育の食物アレルギーの対応を問う！

**問** 食物アレルギーを持つ子どもは世界中で増加傾向にある。平成20年に発行された「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」によると食物アレルギーをもつ児童生徒が他の児童生徒と同じような給食を楽しめることを目指す事が重要であり、食物アレルギーをもつ児童生徒の視点にたったアレルギー対応給食を提供することを旨として学校給食における食物アレルギー対応を推進することが望まれるとしている。

**問** 三芳町では現状の対応で十分と考えているか。

**答** 教育長  
食の安心安全が問われている時期であり、アレルギー疾患のある子どもも増えつつある。アレルギーも多岐にわたっており、不十分な点もあるかと思う。今後更に検討したい。

**問** 新しく建設が予定されている給食センターではどのように対応するか。

**答** 教育総務課長  
現状では除去食や代替食の提供はむずかしいと考えている。

**問** そもそも教育委員会は食物アレルギーに対する



**答** 基本方針はあるのか。

**答** 教育長  
ガイドラインなどを参考に各学校で対応するよう指示を出している。まだ全て整備されたものとはいえないので、今後検討したい。

**問** アレルギー発症の際の病院への搬送マニュアルは整備されているか。

**答** 学校教育課長  
個別の対応マニュアルでは「保護者に連絡し、救急車を要請し搬送する」としている。

**問** アレルギーを周りの児童生徒にどのように教え、理解してもらうのか。

**答** 学校教育課長  
クラスにアレルギーのある児童生徒がいれば、保護者の同意を得て、アレルギーについての指導を行っている。

### 町民のいのちを守る政策実施を早急に！ 防災・減災に向け徹底した対策を！

公明党  
小松 伸介



**問** 防災備蓄品は十分か。

**答** 自治安心課長  
各人が最低1日分の食糧を確保する前提で避難民の想定に合わせた備蓄数になっている。

**問** 他市では自助啓発のため緊急持出袋を無償配布している。当町も実施しては。

**答** 自治安心課長  
自助啓発の有効な方法の一つとして今後の参考にしたい。

**問** 防災行政無線が聞こえづらい地域へ防災ラジオを貸与しては。

**答** 自治安心課長  
有効な方法と注目している。今後、導入費用や利用者負担のあり方を研究していく。

**問** オフラインでも使用可能な防災アプリ導入は。

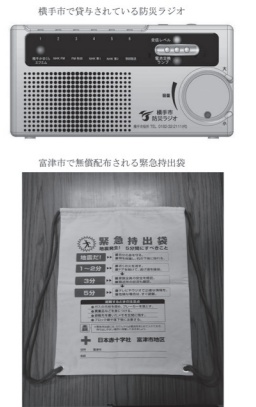
**答** 自治安心課長  
全国規模で有効なソフトと考える。今後の推移を見守っていく。

**問** 消防バイクの装備は。

**答** 自治安心課長  
消火活動可能なものは未配備。有効性を含め消防と話ししていく。

**問** 公共施設へのガラス飛散防止フィルム設置は。

**答** 財務課長  
減災対策として有効と考える。



**問** 設置場所を研究し、設置の方向に向けて考えていきたい。

**問** 道路行政について

**問** 幹線20号線のおよそ保育園周辺の歩道設置は。

**答** 道路交通課長  
今後、歩道整備の推進も視野に入れた検討も必要と考える。

**問** 鶴瀬駅西通り線と藤久保54号線の交差点へ信号設置は。

**答** 道路交通課長  
既に要望済だが更に強く要望する。

**問** 道路と畑の境界部分へ防塵・防砂対策実施は。

**答** 観光産業課長  
農家組合を通じて麦等の播種を依頼していく。

**その他の質問**  
富士見市政施行40周年記念事業①出会い交流事業について②ご当地ナンバープレート・記念名刺について



三芳維新の会  
石田 豊旗

### 平成24年度 三芳町施政方針について 町民に分かりやすい説明を

**問** 町政を取り巻く社会情勢を、どの様に認識しているか。

**答** 政策秘書室長  
経済情勢は非常に厳しく、本年度は地域産業の基盤を活かした企業誘致など特色のある経済活性化事業を展開していく。

**問** 第4次総合振興計画の3か年実施計画に給食センター及び地域拠点施設の建設計画はごいかに。

**答** 副町長  
平成24年度予算に計上されており、3か年実施計画にこの事業がもれてしまったのは不手際であった。

**問** 課長マニフェストの6月広報掲載内容で「マニフェストの詳細はホームページをご覧ください」とあるがどこにも掲載されていないが。

**答** 政策秘書室長  
速やかにホームページへの訂正手続きをとる。

**問** マニフェストの実施内容で、「公金を運用」とあるがどの様な運用方法なのか。

**答** 財務課長  
運用とは、株式と



**問** 財政硬直化が叫ばれているが、経常収支比率等はこのような状況か。

**答** 財務課長  
平成22年度決算ベースでの数値になるが、経常収支比率は92.8%、県内63市町村で62位。臨時財政対策債を除くと99%、63市町村の内46位であり、大変厳しい状況下におかれている。

**問** 財政力指数は。

**答** 財務課長  
3か年平均になるが、1.153、単年度は1.051。

**問** 税金の時効はどのようになっているのか。

**答** 財務課長  
地方税法により、5年を経過すると消滅となる。

**問** 課税の基準日はどのようになっているか。

**答** 財務課長  
その年度の1月1日の所有者に課税する事となっている。

**問** コピスみよしの利用料はこの収入か。

**答** 生涯学習課長  
指定管理者の収入となっている。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

### 財政硬直化解消へ歳入アップ作戦の実施を！ 現状の打開策と新たな提案を！

三芳みらい  
秋坂 豊



**問** 財政硬直化が叫ばれているが、経常収支比率等はこのような状況か。

**答** 財務課長  
平成22年度決算ベースでの数値になるが、経常収支比率は92.8%、県内63市町村で62位。臨時財政対策債を除くと99%、63市町村の内46位であり、大変厳しい状況下におかれている。

**問** 財政力指数は。

**答** 財務課長  
3か年平均になるが、1.153、単年度は1.051。

**問** 税金の時効はどのようになっているのか。

**答** 財務課長  
地方税法により、5年を経過すると消滅となる。

**問** 課税の基準日はどのようになっているか。

**答** 財務課長  
その年度の1月1日の所有者に課税する事となっている。

**問** コピスみよしの利用料はこの収入か。

**答** 生涯学習課長  
指定管理者の収入となっている。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。



**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**問** 厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。

**答** 生涯学習課長  
厳しい財政状況の中なので、町の収入となるよう考えてはどうか。



三芳みらい  
井田 和宏

### 地域経済の更なる活性化を目指して 土地利用の在り方について

**問** 町内企業の意見を聞く場等を設けることを考えていくのか。

**答** 観光産業課長  
各団体との意見交換や町長の企業訪問等を活用したい。開発と保全を今後どのように進めていくのか。

**答** 町長  
人間本来の豊かさや幸せを

**問** 三芳町における地域的利便性を高く評価している企業もあるが、町としてはどのような認識でいるのか。

**答** 町長  
将来的に考えても三芳町の経済的立地の優位性は変わるものではないと考えている。

**問** 企業側の意向として施設の拡大、増設への緩和を求める声があるが、どう考えているのか。

**答** 都市計画課長  
市街化調整区域については総合振興計画の中でも自然環境保全ゾーン、農業ゾーンとして位置づけられている。現行規制を緩和していくのはむずかしいが、今後スマートICの検討委員会で土地利用の在り方について検討する必要があると考えている。

**問** 全小・中学校の各フロア及び体育館に冷水機の設置はどうか。

**答** 教育総務課長  
夏季の水分補給は大切であり、今後調査研究する。

**問** 今夏、公共施設に町民が自由に立ち寄れる「涼み処」設置の進捗は。

**答** 保健センター所長  
藤久保・竹間沢公民館と庁舎に設置をする。



**問** 県道から所沢方面への抜け道になっている上富48号線の安全対策は。

**答** 道路交通課長  
危険性は認識しており、狭隘な交差点付近に注意喚起の路面標示を考えている。

**問** 地域防災力の向上のためにはより小さい単位での防災訓練が必要だと思いが、どう考えているのか。

**答** 自治安心課長  
指定避難所を拠点とする複数の行政連絡区と関係機関が連携して避難訓練を実施する。訓練をはじめ防災意識の広がりを目指している。

**問** 策定中の「地域防災初期行動マニュアル」はどのように周知していくのか。

**答** 自治安心課長  
暫定版を7月中旬に、その後地域との検証期間を経て12月に確定版を出したい。周知については、概要版のリーフレットを全戸配布したい。

### 土木や建築に係わる技術職員の充実を図れ！ 職員の配置や研修内容の適正化

公明党  
内藤 美佐子



**問** これまで公共事業及び職員を削減した事で、技術系職員数の不足がないか。

**答** 総務課長  
技術系職員の全体の中で占める割合は7%と低く、充実を図る必要がある。

**問** 職員研修「一灯塾」で利用の教材は思想的な冊子と思える。職員の内心の自由には配慮されているとは思いますが、できれば町長の「私塾」として実施するほうがよいのでは。

**答** 町長  
「自分の人生と仕事を見つめ直したい」と人間力の向上を目標とした職員研修です。

**障がい者・高齢者対策**  
**問** 災害時の福祉避難所指定についての進捗は。

**答** 自治安心課長  
福祉施設連絡協議会と早期指定に向け内容を調整している。

**問** 多目的トイレのベビーベッドを大人も利用できるサイズのものに変更しては。

**答** 福祉課長  
今後公共施設新設時には対応する。既設の広さでは設

**熱中症対策について**  
**問** 全小・中学校の各フロア及び体育館に冷水機の設置はどうか。

**答** 教育総務課長  
夏季の水分補給は大切であり、今後調査研究する。

**問** 今夏、公共施設に町民が自由に立ち寄れる「涼み処」設置の進捗は。

**答** 保健センター所長  
藤久保・竹間沢公民館と庁舎に設置をする。

**多福寺住宅の安全対策**  
**問** 県道から所沢方面への抜け道になっている上富48号線の安全対策は。

**答** 道路交通課長  
危険性は認識しており、狭隘な交差点付近に注意喚起の路面標示を考えている。



**改正介護保険制度問題**  
**問** 4月から訪問介護の生活援助の時間が短縮され、利用者から苦情が広がったことで、厚生労働省は「従前時間可能」との通知を出している。事業所に徹底すべきではないか。

**答** 健康増進課長  
ケアマネージャーの連絡協議会開催時に話している。

**問** 要支援者サービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行すると、

**川越街道の歩道整備**  
**問** 一方通行区間の歩道の安全確保のため。①植え込みの規格の統一化②歩道中央にある樹木の撤去③防犯灯の設置を県に要請してはどうか。

**答** 道路交通課長  
植え込みの囲い30箇所にてデリネーターで処置した。60箇所を増やす。樹木の撤去は難しいとのこと。防犯灯の設置は県と協議していきたい。

**環境課長**  
**問** 地域資源を活かした自然エネルギーの普及は①エネルギーの自給率の向上②災害時のエネルギー供給③地球温暖化対策④雇用拡大など重要な役割がある。調査研究し導入すべきでは。

**答** 環境課長  
自然エネルギーの導入効果は期待できる。本年度から「住宅用太陽光発電システム補助制度」を設けた。その他の資源の発掘、地域産業の発展も含め研究していく。

**問** 福島第一原発事故によって原発への懸念が広がり、国民の大多数は自然エネルギーへの転換を求めている。

**答** 環境課長  
地域資源を活かした自然エネルギーの普及は①エネルギーの自給率の向上②災害時のエネルギー供給③地球温暖化対策④雇用拡大など重要な役割がある。調査研究し導入すべきでは。



日本共産党  
吉村 美津子

### 福祉後退の事業の仕分けは、やめるべき 食品の放射性物質検査機器の貸与

**問** 事業の仕分けは、多くの町民に関わる16事業を、町外2名、町内6名の8名で、たったの50分間で継続・廃止等を判断決定しなければならぬ。あまりにも無謀では。事業の仕分けでは、敬老祝金支給事業の総支給額を減らすことが目的なのか。

**答** 政策秘書室長  
担当課の庁内事務事業評価では、高齢化が進むにつれ対象者が増加する理由の評価はしているが、事業の仕分けとは別。

**問** 事業の仕分けでは、効率やコスト削減、受益者負担などが評価基準とされ、福祉向上の文言がない。なぜ住民サービス・福祉向上の文言を入れないのか。

**答** 町長  
文言が入っていないとしても福祉後退のための事業の仕分けではない。

**食品の放射性物質検査機器の貸与**  
**問** 町は消費者庁より放射性物質検査機器貸与が決定。役場に測定器を設置。町民は無料で食品検査ができる。給食も測定をすべきで、その食品放射性基準値を町独自で10ベクレルと定

**中央公民館名称の存続**  
**問** 個人的で受け身的となるカルチャーセンターの学びの場とは異なり、公民館は、みんなで企画を考えるなど集団的・主体的・創造的で民主主義が身についていく学びの場である。また、個人が豊かになるだけでなく、一定の区域に還元するもので、地域づくり、仲間づくりができる場でもある。法の下での公民館の意義をどのようにとらえるか。

**答** 町長  
福祉の増進になるものと思っている。

**その他の質問**  
町内循環小型バス導入について



### 地域資源を活かした自然エネルギーの導入を 訪問介護時間短縮「従前時間可能」国が通知

日本共産党  
杉本 しげ



**環境課長**  
**問** 地域資源を活かした自然エネルギーの普及は①エネルギーの自給率の向上②災害時のエネルギー供給③地球温暖化対策④雇用拡大など重要な役割がある。調査研究し導入すべきでは。

**答** 環境課長  
自然エネルギーの導入効果は期待できる。本年度から「住宅用太陽光発電システム補助制度」を設けた。その他の資源の発掘、地域産業の発展も含め研究していく。

**川越街道の歩道整備**  
**問** 一方通行区間の歩道の安全確保のため。①植え込みの規格の統一化②歩道中央にある樹木の撤去③防犯灯の設置を県に要請してはどうか。

**答** 道路交通課長  
植え込みの囲い30箇所にてデリネーターで処置した。60箇所を増やす。樹木の撤去は難しいとのこと。防犯灯の設置は県と協議していきたい。

**環境課長**  
**問** 地域資源を活かした自然エネルギーの普及は①エネルギーの自給率の向上②災害時のエネルギー供給③地球温暖化対策④雇用拡大など重要な役割がある。調査研究し導入すべきでは。

**答** 環境課長  
自然エネルギーの導入効果は期待できる。本年度から「住宅用太陽光発電システム補助制度」を設けた。その他の資源の発掘、地域産業の発展も含め研究していく。

**健康増進課長**  
**問** 事業費が制限され、必要なサービスが受けられない可能性があるのか。当町は移行を選択するのか。

**答** 健康増進課長  
第5期計画では「移行はしないこと」とした。



6月定例会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。



日本共産党  
増田 磨美

### 町内企業への若者の就職支援と雇用について 小中学校での芸術文化活動をもっと積極的に

**問** 総務省の調査によると青年層の完全失業率は9.9%。非正規雇用は2人に1人と若者にとって非常に厳しい状況が続いている。こうした状況の中、町では、若者の就職支援をどのように行っているのか。

**答** 観光産業課長  
ふじみ野市・富士見市と連携し、若年求職者向け集中セミナーを年に2日間行っている。

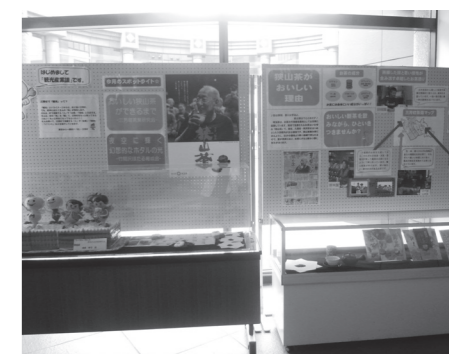
**問** 庁舎内に若者向け就職支援ブースを設け町内企業と若者を結び橋渡しを行っている。

**答** 観光産業課長

庁舎内1階の企業紹介ブースへの展示、若者への情報提供、町のホームページに企業紹介のコーナー、町長の企業訪問時の協力依頼などを検討していく。

**問** 町内には、近隣市に比べ非常に多くの企業がある。この環境を活かし就職、定住してもらう事が、若者の雇用、経済発展や町の活性化、税収増につながる。町の将来に関わる重要な課題ではないか。

**答** 町長  
企業訪問を再開し若者の就職雇用支援についても話をしに行く。<住んで働きたい



町へになるように検討していきたい。

#### 学校における芸術文化の提供と創造について

**問** 芸術文化に触れる活動は、子供たちに多くものに出会えるチャンスを与え、心を育み、将来の生き方を見つけないか。

**答** 学校教育課長  
アウトリーチ活動や地域の伝統文化を活かした活動を行っている。今後は校長会などに投げかけていきたい。

#### その他の質問

- ①待機児童解消策。
- ②幹線19号線の信号機早期設置(2025年)

### 傍聴席からの意見

議会の中で土地開発事業の報告は、私の住居、まわりなので計画の件、土地の件、とても興味深く、今日の傍聴はプラスでした。又道路が広くなればライフパスも通行できると信じて、信号等も付加されていけば交通量が多くなっても安全に通行できると考えます。

(藤久保 Mさん)  
道路行政について、感心しました。議員が頑張っている姿が良くわかりました。又参加します。

(藤久保 Tさん)  
事業仕分けは福祉後退か?  
・町内循環小型バスの導入  
・食品放射性物質測定機器の貸与  
・中央公民館の名称の存続

(上富 Yさん)  
東日本大震災を機に防災に対する住民の意識が向上しています。特に社会的弱者(障害者、幼児、高齢者)に対する共助(互助)の町づくり地域づくり痛感しています。住民の意見・要望積極的に聞き、安

全安心の町づくり行政が力を注いで欲しいと思います。  
(北永井 Fさん)  
今後も活発な議論を期待します。  
(上富 Iさん)

防災について  
ひとつひとつ安全について、良かったです。  
道路行政について  
子供の安全について大変良かったです。

(Mさん)  
正しい方向での質問であったと思います。もっと応答ともに具体化しパンチがあってもよかったです。はいかと

行政側もっと強制力を発揮してもよいのではないしょうか。  
(藤久保 Mさん)

経済状況がまいちのなかで、就職状況も深刻化しており、特に若者にとっては、きびしい状況になっているので、町としても就職の情報提供や庁舎内にそのブースの設置、町長の企業訪問など、町内の若者の就職についてのとりくみを要望した。

若者の町内への定着は三芳の将来に明るい見通しをつくりたい。  
また、子どもたちにすぐれた芸術文化を提供することが、将来への情

三芳みらい  
抜井 尚男



### 三芳町の行財政計画について 次世代への負担(借金)を残さない町政を

**問** 今年度、町ではどのような行財政改革を行うのか。

**答** 政策秘書室長  
事務事業評価として、事業仕分け。行政評価制度の取り組みとして、行政評価ワーキングチームの設置。公共施設の更新整備維持管理方針を策定する、公共施設ワーキングチームの設置。職員適正化計画の継続等により改革を推進する方針である。

**問** 数値目標については、各々の政策研究チームによって目標を定めていく予定である。

**問** 不必要と認められる町有財産売却の方針は。

**答** 財務課長  
売却可能な財産に関しては、自主財源確保の観点からも積極的に売却していく方針である。都市計画道路整備に伴う残地や長年未利用となつている緑が丘住宅人口付近の町所有の土地の売却を進めていく方針である。

**問** 継続的に有効活用できる土地等は賃貸借ではなく買取所有が財政的に有効なのは。

**答** 財務課長  
当町では約6万㎡、年間賃借料6,000万円の借用地が



ある。今後、住民の意見を聞きながら整理統合返却及び買取りを検討していく。

**問** 今後10年間で想定される主な財政出動額は。

**答** 財務課長  
約91億円を見込んでいる。他に公共施設修繕やスマートICフル化に伴う道路整備費用も見込まれると考えている。

**問** 財政対策については。

**答** 財務課長  
起債(借金)及び国や県の補助を考えているが、事業の縮小、見直し、優先順位の再検討等を行う必要があると考えている。

**問** 今後、町の債務額はいくつになる予定なのか。

**答** 財務課長  
現債額約120億円になると推定している。

### 議会改革推進 特別委員会

#### 議員発議

第4回定例会において、議員提出の発議第6号「三芳町議会改革推進特別委員会の設置について」が全会一致で可決されました。議会が、より一層住民の負託に応え、期待される政策形成や行政監視、地方公共団体の意思決定機関としての役割を果たすため、「町民に開かれた議会」、「町民参加の議会」を継続し、時代に即した議会改革の推進を目的として三芳町議会改革推進特別委員会を設置しました。

#### 委員会構成 (8名)

委員長	菊地 浩二
副委員長	石田 豊旗
委員	久保 健二
委員	抜井 尚男
委員	増田 磨美
委員	吉村 美津子
委員	小松 伸介
委員	岩城 桂子



次回もぜひ、ご参加ください。

操豊かな人間になるのではないかと町でのとりくみを要望した。わたしたち町民にとつてもよい質問と答弁でした。  
(藤久保 Sさん)

※他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

	日程	人数
本会議	6月 1日	8名
	6月 4日	17名
	6月 5日	13名
	6月 7日	11名
	6月 8日	7名
	6月12日	4名
	小計	60名
委員会	6月 8日(改革)	1名
	6月11日(総務)	2名
	小計	3名
合計		63名

【傍聴者数内訳】

# 議会活動日誌

## 5月

- 9日 富士見市議会 視察来庁
- 11日 埼玉県町村議会議長会 広報研修会
- 14日 議会運営委員会  
第3回臨時会  
厚生文教常任委員会  
全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 28日 全員協議会
- 29日 議会運営委員会
- 29日～30日 第37回町村議会議長・副議長  
研修会

- 8日 議会改革推進特別委員会
- 11日 総務常任委員会
- 21日 議会だより編集委員会
- 26日 議会改革推進特別委員会
- 28日～29日 入間郡町村議会議長会 県外視察  
研修会

## 6月

- 1日 議会運営委員会
- 1日～12日 第4回定例会
- 1日 総務常任委員会  
厚生文教常任委員会
- 4日 議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会

## 7月

- 2日 議会だより編集委員会
- 9日 入間東部地区消防組合 議会運営委員会  
入間東部地区消防組合 第1回臨時会
- 10日 議会改革推進特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 厚生文教常任委員会 所管事務調査
- 17日 全員協議会
- 19日 総務常任委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 26日～27日 埼玉県町村議会議長会 県外視察  
研修会

## 次の議会定例会は

9月4日



## 開催予定です

皆様の傍聴をお待ちしております

## 夜間議会を開催します

日時:9月7日(金)  
18:00～21:30(予定)

内容:議員3名による一般質問

※会議途中の入退場は自由ですので  
お気軽にお越しください

## 編集後記

6月1日より開催された定例会は、当初の日程より会期を1日延長し、12日をもって閉会致しました。

昨年の議会議員の改選から1年が経過しました。今定例会でも全員が一般質問に登壇し、よりよい三芳町の構築に向けて、活発な質疑がされております。

また、今回も多くの町民の皆様には議会傍聴にお越し頂き、感謝の思いで一杯です。

皆様のご期待にお応えしていくためにも、更なる「町民に開かれた議会」を目指し、議会改革推進特別委員会が今定例会にて新たに設置されました。よりよい議会運営、議会改革を推進するため、調査・研究を重ね、活発な意見交換を行って参ります。

議会だより編集委員会として、これから町民の皆様におかれ、ご愛読頂けるような議会だよりを目指して、委員一丸となつて取り組んで参ります。

議会だより編集委員会

委員 小松

委員長 吉村 美津子

副委員長 久保 健二

委員 菊地 浩二

委員 石田 豊二

委員 小松 伸介

議長 山田 政弘